

ごみ持ち去りに関するアンケート結果

エスペランサでは、ごみ持ち去りに関するアンケートを実施し、以下のような結果が得られました。

1. 実施方法

(1) 対象

外国につながる保護者（本人あるいは配偶者が外国人）

エスペランサ支援家庭の保護者

上記の保護者の知人

(2) 期間

配布 2010年2月25日～3月5日

回収 2010年2月26日～3月13日

(3) 調査内容

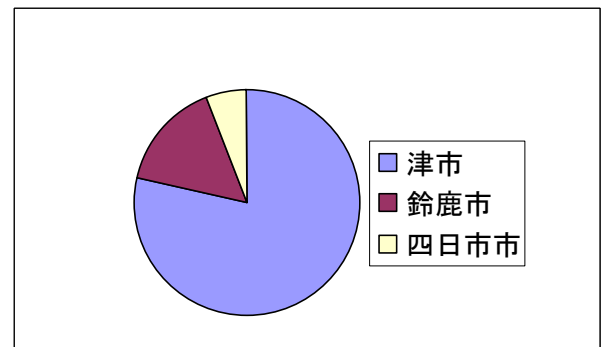
別紙

2. アンケートの結果

上記の対象者のうち51人から回答が寄せられました。

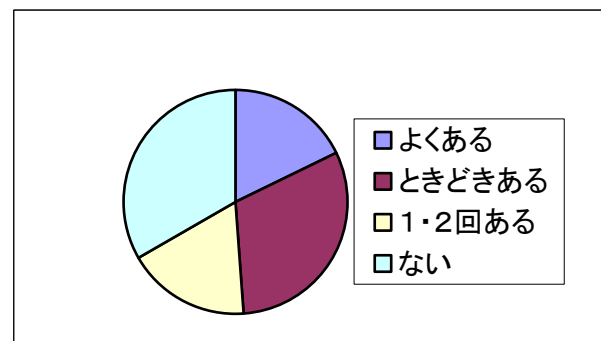
(1) 居住地

居住地	人数	割合 (%)
津市	40	78.4
鈴鹿市	8	15.7
四日市市	3	5.9
合計	51	100



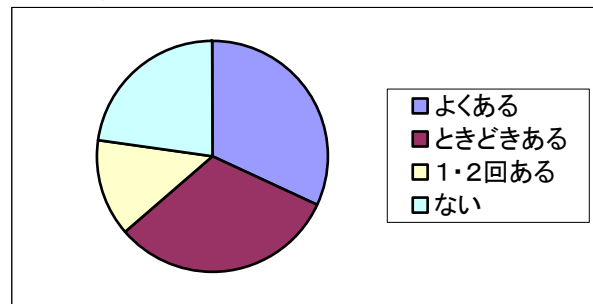
(2) ごみ持ち去りの経験（全体）

持ち去りの度合	人数	割合 (%)
よくある	9	17.6
ときどきある	16	31.4
1・2回ある	9	17.6
ない	17	33.4
合計	51	100



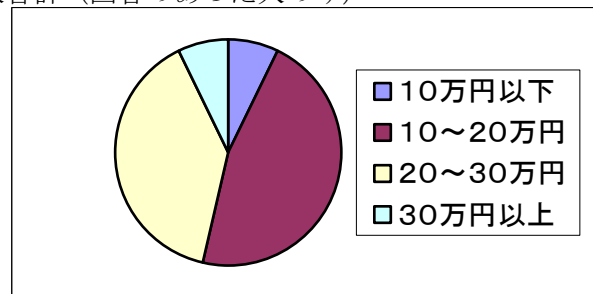
(3) ごみ持ち去りの経験（１３～１８才の子どものいる家庭）

持ち去りの度合	人数	割合（％）
よくある	7	31.8
ときどきある	7	31.8
１・２回ある	3	13.6
ない	5	22.8
合計	22	100



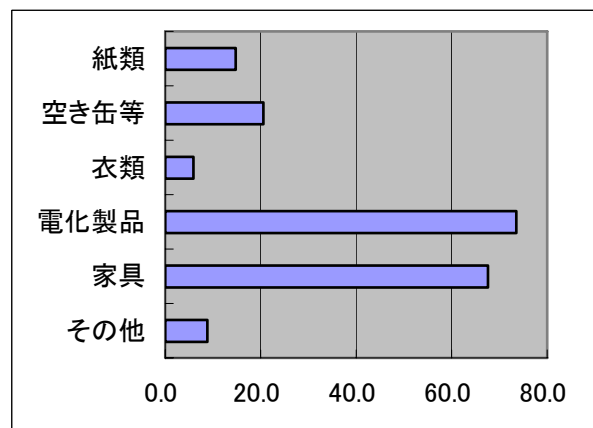
(4) ごみを持ち去ったことのある人の家庭の月収合計（回答のあった人のみ）

月収	人数	割合（％）
１０万円以下	2	7.1
１０～２０万円	13	46.5
２０～３０万円	11	39.3
３０万円以上	2	7.1
合計	28	100



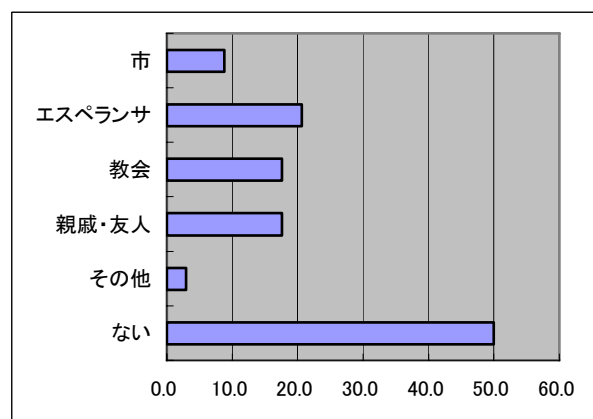
(5) 持ち去ったごみ（複数回答）

持ち去ったごみ	人数	割合（％）
紙類	5	14.7
空き缶・空き瓶 ・ペットボトル	7	20.6
衣類	2	5.9
電化製品	25	73.5
家具	23	67.6
その他	3	8.8
全体	34	100



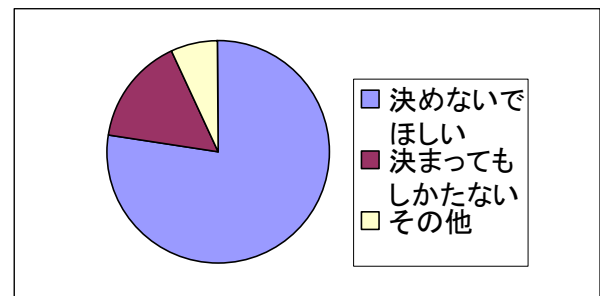
(6) ごみを持ち去ったことのある人の生活支援を受けた経験（複数回答）

支援を受けた所	人数	割合（％）
市	3	8.8
エスペランサ	7	20.6
教会	6	17.6
親戚・友人	6	17.6
その他	1	2.9
ない	17	50.0
全体	34	100



(7) ごみ持ち去り禁止条例について

条例について	人数	割合 (%)
決めないでほしい	34	77.3
決まってもしかたない	7	15.9
その他	3	6.8
合計	44	100



その他：自由にもっていけるようにしてほしい。

(8) 決めないでほしい理由（複数回答）

理由	人数	割合 (%)
生活に困っている人が持ち去っている事実を知っているから。	16	47.1
生活に困っている人が持ち去っていると思われるから。	15	44.1
捨てたものを再利用するのはいいことだから。	19	55.9
全体	34	100

(9) 決まってもしかたないと思う理由（複数回答）

理由	人数	割合 (%)
日本にいたので、日本人の常識に従うべきだから。	3	42.9
だまって持っていくのは、ルール違反なので、罰せられてもしかたないから。	3	42.9
全体	7	100

(10) この問題を解決する方法（複数回答）

理由	人数	割合 (%)
生活のために持っていく人が多いので、そのまま持ち去るのを認めてほしい。	26	59.1
持ち去る人の事情を、日本の人に知ってほしい。	8	18.2
持ち去る人は、だまってもっていくのではなく、地域の人の了解を得るべきである	16	36.4
持ち去りはやめるべきである。	1	2.3
持ち去り禁止条例で罰則を決めて、取り締まるべきである。	4	9.1
その他	3	6.8
全体	44	100

その他：生活のために持っていく人が多いのなら、条例で取り締まるのではなく、その人たちの支援を考えるべきである。

必要な手続きをして持っていけるようにすべきである。

ごみなら持っていきやすいが、直接は言いにくい。